

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム まごころの家・いんべ

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 7 年 9 月 30 日

開催場所…グループホーム まごころの家・いんべ

出席者

事業所	2 人	利用者	人
利用者家族	人	地域代表者	1 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	人	その他 ()	人

議事

活動状況報告（令和 7 年 8 月～9 月）

・納涼祭

8 月 3 日 昼食にちらし寿司、ソーメンなど召し上がっていただく。
ミニゲーム（お菓子釣りや的当て）すいか割りを楽しんでもらいました。

・敬老会

9 月 22 日 昼食にお祝い膳、お刺身。午後には和菓子と抹茶でお茶会を開催。
白寿（2 名）のお祝い、全員にお祝いの品をプレゼント。
職員による語り部、歌（利用者も一緒に）を披露し楽しんで頂いた。

・誕生会 8 月誕生者 0 名、9 月誕生者 2 名 2 名それぞれの誕生日当日にお祝い膳。9
月 9 日に合同誕生会を行い、スタッフ手作りケーキでお祝いした。

身体拘束委員会

・10 月 30 日「虐待防止委員会」を開催予定

会議中の質疑応答

事業所）人員不足が続いている中、夜勤者を宿直に替える事は可能となっているが、
現実的には GH においては不可能である。認知症の利用者の安全を考えると責任の
所在などなかなか難しいと思われます。

松江市）災害時の地域との連携はどのようになっていますか

事業所）地域との連携は出来ていない。自分のところで精一杯というのが本音。

地 域）以前、災害があった時に近くの施設の方が公民館に避難に来られたが、公民
館前に段差があり断念されたことがあります。

事業所）原発の際は難しいと思われる。避難計画はあるが、実際に避難のためのバス
はどれ位で来るのか？など検討が立たない。施設内で 3 日間くらいは過ごせ

る備蓄品を確保している。しかし、停電の際は困難な状況になってしまう。

地 域) 近くの忌部橋が 11 月より工事ための準備が始まり片側通行になります。来年の秋に本格的に工事が始まります (約半年間)

事業所) 人員不足について、福祉の仕事は誰にでもできるものではない。資質があり向き不向きがある。福祉の現場にくる人がいない。当法人も人員不足から 2 ユニットから 1 ユニットに近く変更します。状況が変われば、2 ユニットに戻していきたい。

外国人労働者の話もあるがあまり良い話を耳にしない。少し務めては別のところは変わってしまう。賃金など国が担保してくれれば雇いやすくなるのでは？

介護報酬の仕組みをもっと考えてもらわないと法人としてはやっていけない。職員の給与は少しずつ上がっているが、法人が補填していることが多いと思われる。

※事業所確認欄 会議中の質疑応答

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	